

学区争い/域通学競争の連鎖懸念

県立庄内中高一貫校保護者等説明会

県立の庄内中高一貫校(仮称)

校(仮称)

の教育基本

県教育庁の担当者か



県立中高一貫校で高校設置場所となる予定の鶴岡南高(左)と中学校設置場所となる予定の鶴岡北高(右)

計画に係る保護者等説明会が13日開かれ、菅井巖市議が参加しました。現鶴岡南高校と鶴岡北高校の校舎・敷地を活用し、令和6年度の開校を目指すとされています。設置場所は中学校が現北高、高校が現南高で、通学区域は県下一円としています。中学校への入学選

抜方法は、①適性検査、②作文、③面接の実施と、出身小学校で作成した④調査書(通知表、学習記録、出欠状況など)とし、4つをそれぞれ点数化し、総合得点を算出するとしています。令和4、5年度は統合に向けた移行期となり、同年度の鶴南、鶴北の入学者が令和6年の併設高校開校時で2年、3年生となります。参加者からは、学力に関して併設中学校から併設高校への進学での「学力低下」「中だるみ」や、現状の両高校のレベルが維持されるか等の質問が出されました。また、広域からの通

次の総選挙で政権奪取を

穀田国対委員長迎え山形駅前で街頭演説



左から高橋衆院議員、穀田国対委員長、ふなやま比例候補、梅木山形3区候補

員、ふなやま由美比例候補、梅木たけし山形3区候補も弁士として、次の総選挙で政権奪取の決意が述べられました。穀田衆院議員は演説のなかで、この間の学術会議の問題に触れ「戦前の天皇制政府が学問の自由、大学の自治を奪うため人事に介入した『滝川事件』では、文部省の要求を最後まで

拒否し続け総長が辞職しているが、当時の京都大学総長が山形県出身の小西重直氏であり、この行動は今でも光彩を放ち歴史に刻まれている。」ことが紹介されました。また、県内で野党統一で連続勝利した舟山康江参院議員、芳賀道也参院議員から熱いメッセージが紹介されました。鶴岡市民も党鶴岡市議団5人を中心に、4台のマイクroバスで参加しました。

政府と自民党による故中曽根康弘氏合同葬儀の対応について

政府は、故中曽根康弘元首相の政府と自民党による合同葬儀にあたり、弔旗の掲揚や黙とうなどを大学や教育委員会、自治体、官公庁などに求める通知を出しました。鶴岡市では17日に本庁と5支所で半旗を掲揚し、鶴岡市教育委員会では「あくまでも参考として文科省の文書各学校に通知している。」としました。

由民主義の政治家であり、教育委員会に弔意を求めることは、特定政党を支持する教育などを禁じた教育基本法第14条に違反するものです。また、そもそも弔意とは誰であれ、弔意を示すかどうかを含め、すべて憲法に保障される『内心の自由』にかかわる問題です。

国家が弔意を強要したり、弔意を事実上強制したりすることはやっつけはならないものです。故中曽根氏は現職の総理大臣ではなく自

日本共産党の穀田恵二国対策委員長・衆院議員を迎え、18日に山形駅東口で街頭演説が行われました。

高橋ちづ子衆院議

マイナス超過で経常損益 マイナス2億4000万円

荘内病院中期経営計画評価委

令和2年度市立荘内病院中期経営計画評価委員会が12日開催され、坂本昌栄市議が傍聴しました。

市病院事業管理者の挨拶に続き、蘆野吉和氏（山形県庄内保健所長）を委員長、福原晶子氏（鶴岡医師会長）を副委員長に選任しました。

続いて平成29年3月の荘内病院中期経営計画実施計画に基づき、令和元年度事業実績の評価について、当局から報告がありました。

病床利用率は平成30年度の83・3%から元年度76・9%に減少し、平均在院日数は同14・2日から13・1日となっていること。

経営状況では令和2年1月から3月のインフルエンザ患者の減少と、新型コロナウイルス感染症の影響によ

り、手術等を控えたことや受診抑制により、経常損益はマイナス2億4900万円と報告されました。

医師確保の評価では、平成31年4月から歯科口腔外科の歯科麻酔常勤医1人、眼科医2人を確保し、医師修学資金200万円（年額）を7人に貸与したが、前年同様にC評価となったこと。

また令和2年4月からは民間の医師紹介事業者を活用し、小児科と呼吸器科の常勤医師2人を確保したとの報告がありました。

外来の待ち時間短縮は、C評価となっているが、参加した委員から「待ち時間の程度が解らない。来た時間から帰る時間までなのか、診療までの時間なのか等を含め調査をすべきではないか」、

インフルエンザ接種費用 助成金1000円引き上げ

高齢市民税非課税世帯は3千円助成

県議会でのインフルエンザ予防接種費用支援事業の補正予算が可決されたことを受け、鶴岡市でも高齢者インフルエンザ予防接種助成金を1000円引き上げます。

高齢者等定期接種対象者（満65歳以上の人・満60歳から満64歳までで心臓、腎臓、呼吸器等の機能障害またはヒト免疫機能に障害を

有する方）は、接種費用のうち2500円を、高齢市民税非課税世帯は3000円を市が助成します。

10月1日から14日までに助成額1500円、市民税非課税世帯の方は助成額2000円で接種を受けた人には、11月以降に市より還付払い（1000円）の案内が個別に送付されます。

「数値目標がある以上調査は必要で、他病院との比較をするべき」との意見が出され、当局から「全体の調査により改善できることがあるか検討をする」等の答弁がありました。

4～7月はコロナの影響続く

委員から、「今年度の経営状況は」の問いには、「4月から7月までは依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、

約3億円の減収となっている。8月以降は患者が戻ってきている」との答弁がありました。

「救急外来の患者は減少していないが、軽症者が多いのではないかと。コンビニ受診等市民への周知が必要ではないか」の問いには、

「救急外来は以前2万7千件程あったが、軽症者は休日夜間診療所や他病院で8千件程受診しており、荘内病院では1万7千件程で、軽症者は65%、重傷者

駅前高校生集まれる場所を 第2回城下のまち鶴岡将来構想策委

第2回城下のまち鶴岡将来構想策委員会

（委員長 上木勝司都市計画審議会会長）が15日開かれ、JR鶴岡駅前地区の将来構想が協議されました。

同委員会のアドバイザー側から検討の経過が報告され、「建物を直す必要がそもそもあるか、町全体をどうするか、誰のため何のためにするのか、など議論を重ねた。

鶴岡駅を利用する人の6割が高校生。高校生が集まれる場所をつくれないうるか、勉強スペースや街の話聞く学びの場として、また高校生が街を好きになり自慢したくなる場として整備をすすめたい」と提案がありました。

委員から、「過度な設備投資をせず、大人も子どももみんなで作っていく事が大切では、

「街を使って高校生を育てる。高校生が街をつくる。これを同時に展開することが重要では」といった意見が出されました。

今後、来年8月まで計5回の委員会を開き、構想の素案を市に提出する予定です。

教育委員会管理課入札結果（ ）内は予定価格	10月15日入札分
・市立鶴岡第一中学校トイレ洋式化改修工事(繰越明許)(道田町1番82号)(入札6業者) (有)冷熱設備今野 8,100,000円 (8,480,000円) 工期～3/2/25 (落札率95.52%)	
建築課入札結果（ ）内は予定価格	10月15日入札分
・駅前再開発ビル駐車場落下防止柵改修工事（末広町3番）(入札3業者) (有)マル義佐藤工務店 2,400,000円 (2,800,000円) 工期～3/1/15 (落札率85.71%)	
櫛引庁舎産業建設課入札結果（ ）内は予定価格	10月15日入札分
・市道松根羽黒線防護柵設置工事(たらのき代他地内)(入札4業者うち1業者辞退) 五十嵐組 3,350,000円 (3,379,000円) 工期～12/11 (落札率99.14%)	
都市計画課入札結果（ ）内は予定価格	10月15日入札分
・都市公園施設長寿命化対策工事その2（文園町地内ほか）(入札4業者) (株)山口工務店 11,700,000円 (11,872,000円) 工期～3/3/22 (落札率98.55%)	
土木課入札結果（ ）内は予定価格	10月15日入札分
・市道松尾今野線防護柵設置工事 中止	